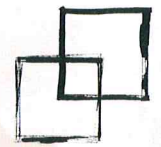


ふくおかとながさきのうがくし
森本哲郎



森本哲郎の会

能

石占

きぬた

森本 哲郎

狂言

入間川

いるまがわ

野村 万緑

ほろほろ
はらはらはらといづれ砦の音やらん

平成26年 6月 21日 (土) 午後1時開演 (正午開場)

大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園 1-5

◆お問合せ ◎森本能舞台 092-711-8888 ◎大濠公園能楽堂 092-715-2155

S指定席 ¥7000 (ウェブ割 ¥6300) A指定席 ¥6000 (ウェブ割 ¥5400)
自由席 ¥5000 (ウェブ割 ¥4500) 学生自由席 ¥3000 (ウェブ割 ¥2700)

※当日券は全て¥1000増しとなります。



ホームページから、
チケット購入するとお得な
WEB割、あります！

森本能舞台

検索



解説 森本 哲郎



森本 哲郎の会

仕舞
井筒 今村嘉太郎
女郎花 今村 一夫

狂言 入間川

IRUMAGAWA

シテ(大名) 野村 万禄
アト(太郎冠者) 吉良 博靖
小アト(入間の某) 吉住 講
後見 宮永 優子



和泉流狂言方
野村 万禄

————— 休憩 20 分 —————

仕舞
浮舟 今村 宮子
富士太鼓 山本 順之
阿漕 山本 章弘

能 砧

KINUTA

前シテ (蔵屋某の北方) 森本 哲郎
後シテ (北方の亡霊)
ツレ(夕霧) 久保誠一郎
ワキ(蔵屋某) 福王 和幸
アイ(下人) 野村 万禄

後見 山本 章弘
今村 一夫

笛 相原 一彦 地謡 山本 順之
小鼓 荒木 賀光 坂口 信男
大鼓 白坂 信行 多久島利之
太鼓 中田 弘美 今村 嘉伸
山口剛一郎
今村嘉太郎
吉山 有
井内 政徳



観世流シテ方
森本 哲郎



福王流ワキ方
福王 和幸

狂言 入間川 (いるまがわ)

長らく都に来ていた遠国の大名が、太郎冠者を連れて本国へ帰る途中、入間川に行き当たる。そこで出会った入間に住む何某が深いからと止めるのも聞かず、川を歩いて渡ろうとした大名は、深みにはまってしまう。昔から入間では「入間様 (いるまよう)」と言って逆さ言葉を使うはずだと怒った大名は、何某を成敗しようとはしますが…。逆さ言葉によるセリフのやりとりが面白い作品です。

能 砧 (きぬた)

九州蘆屋の何某は、訴訟の事で上京して既に三年の年月がたっています。故郷のことも気に掛かるため、「今年の暮れには帰る」という文を、召し使っている夕霧に持たせて、九州の妻のもとへ使わせませす。

一方、夫の帰りを待ち侘びている妻はこの便りを聞き、喜びながらも、三年の間の無沙汰を恨み、また華やかな都で夫とともに暮した夕霧を羨む気持ちは隠しきれません。おりから松風に誘われて聞こえてくる砧の音に誘われて、自分も夕霧と共に砧を打ち、心を慰めます。来る日も来る日も、夫を思い、夫を待ち、砧を打つ妻。そこへ都から、「今年も帰れない」という知らせが入ります。妻はもしや夫が心変わりして、自分を捨てたのではないかと疑い、心乱れ思い煩って病気となり、夫を恨みながら亡くなってしまいます。

ようやく故郷へと帰ってきた夫は、妻の死を嘆き悲しみます。妻の菩提を弔っていると、妻の亡霊が浮かび上がり、夫を恨んだ心の迷い故、成仏できず地獄の責め苦しんでいると訴えますが、法華経の功德で成仏し、闇の中に消えていくのでした。

(4時20分頃終了予定)

入場料 / S 指定席 7,000 円 (ウェブ割 6,300 円) A 指定席 6,000 円 (ウェブ割 5,400 円)
自由席 5,000 円 (ウェブ割 4,500 円) 学生自由席 3,000 円 (ウェブ割 2,700 円)

チケットお申込み / 森本能舞台 092-711-8888
大濠公園能楽堂 092-715-2155

◆お問合せ / 森本能舞台

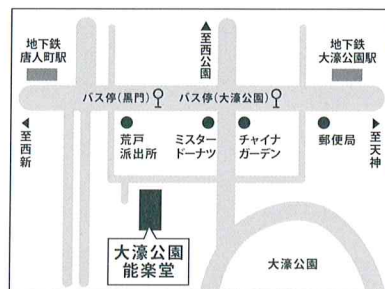
〒810-0023 福岡市中央区警固 3-8-1
TEL.092-711-8888 又は TEL.090-4775-9043
FAX.092-711-8181 (事務局 黒川)

森本能舞台 公式HP

<http://m-nohbutai.com/>

大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園 1-5 / TEL 092-715-2155



大濠公園能楽堂までのアクセス

- ・地下鉄大濠公園駅又は唐人町駅下車徒歩7分
- ・西鉄バス黒門、又は大濠公園下車徒歩5分

森本能舞台

検索